

はじめの6年、 あしたへの手紙



佐々木 陽

はるが うまれたのは、4月の あさでした。
雨が あがって、そらが とても きれいに
なりました。



お日さまの ひかりのような 子に なりますように。
そう ねがって、きめた 名まえが、「はる」です。

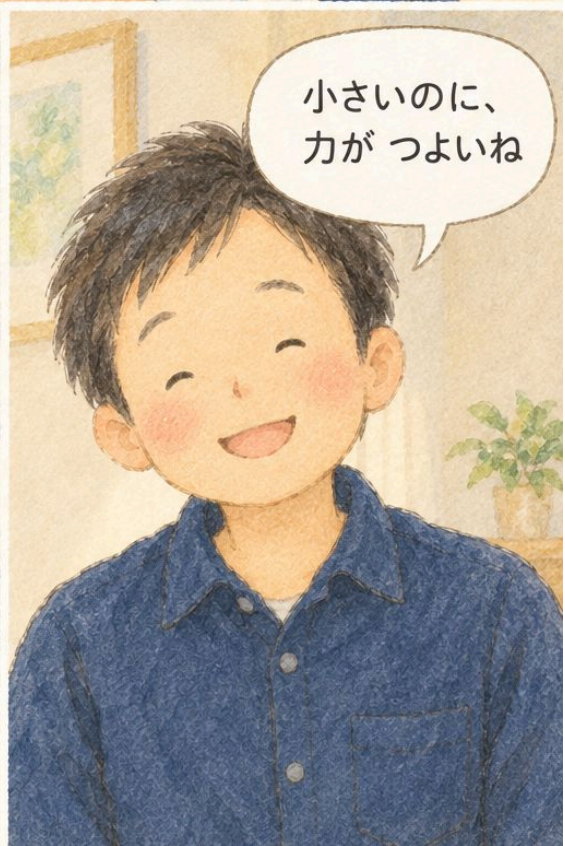
はじめて はるを だっこした
おとうさんは、なかなか ことばが
出ませんでした。



小さな 手が、ゆびを
ぎゅっと にぎったからです。



小さいのに、
力が つよいね



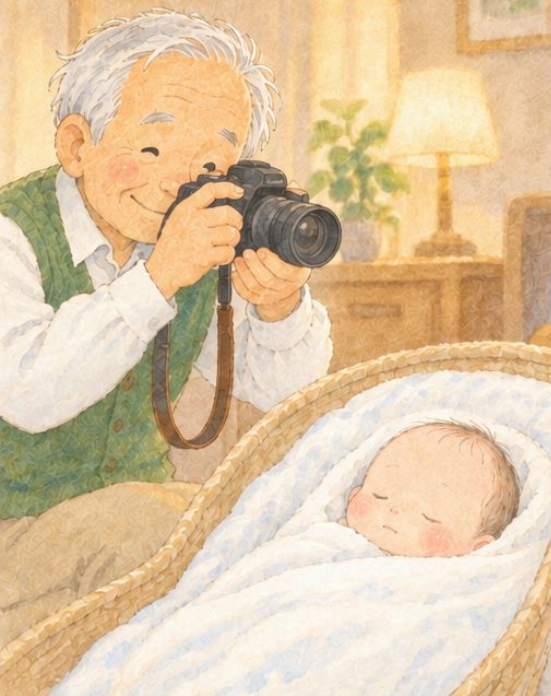
その日のゆうがた、おじいちゃんとおばあちゃんが あいに きました。



やわらかいねえ



おじいちゃんは、しゃしんを
たくさん 取りました。



どれも おなじような しゃしんでした。



げんかんには、おばあちゃんが
あんだ 白い くつしたが ならんで
いました。



よるになると、はるは 1じかんおきに
目を さました。ねむい けれど、
うれしい よるでした。

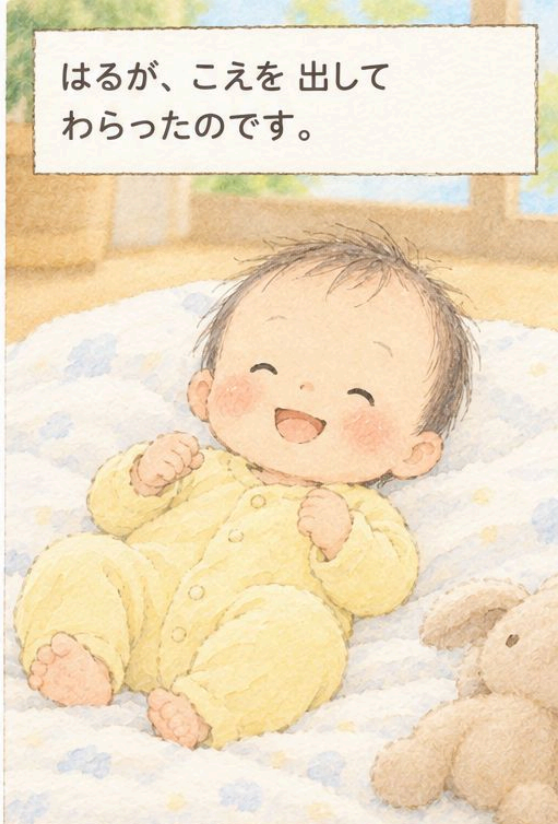


ずっと 見て
いられるね





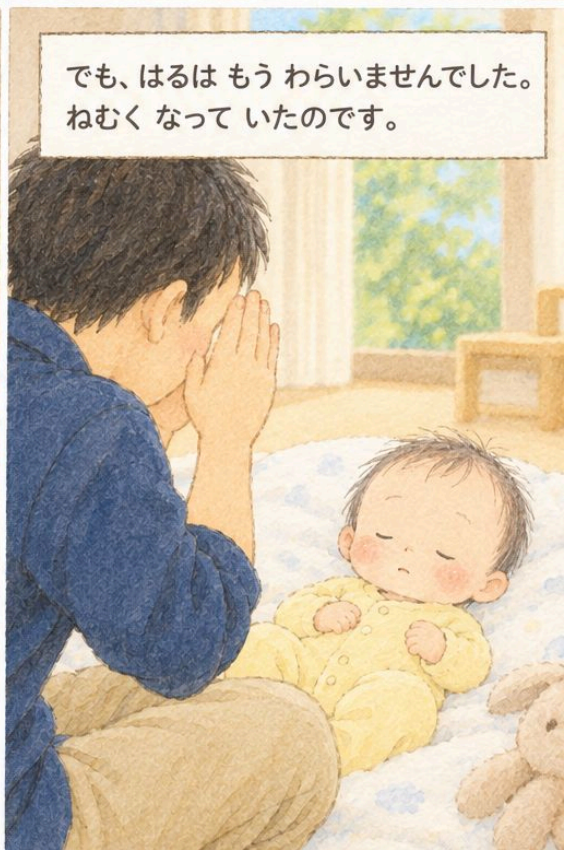
いない いない
ばあ



はるが、こえを出して
わらったのです。



いま、わらった!



でも、はるはもう わらいませんでした。
ねむく なって いたのです。

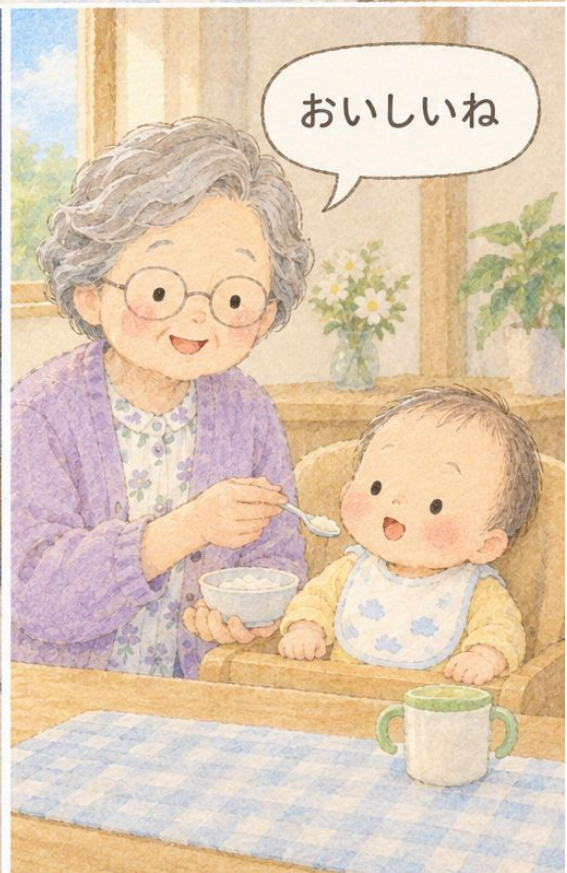
なつのおわりに なると、はるは
ねがえりを するようになりました。



おかあさんが 小さな こえで
うたうと、はるは すぐに ねむって
しまいました。



おいしいね



ふゆの あいだ、はるは よく
はいはいを しました。



まんま



いま、まんまって
いった？



おとうさんに 3かいも ききました。

1さいの たんじょう日。
はるは、ろうそくを ふく かわりに、
ケーキに 手を入れました。



まっ白になった手を見て、
はるが 先に わらいました。
みんなも いっしょに わらいました。



はるは、おじいちゃんの 手に
つかまって 立って いました。



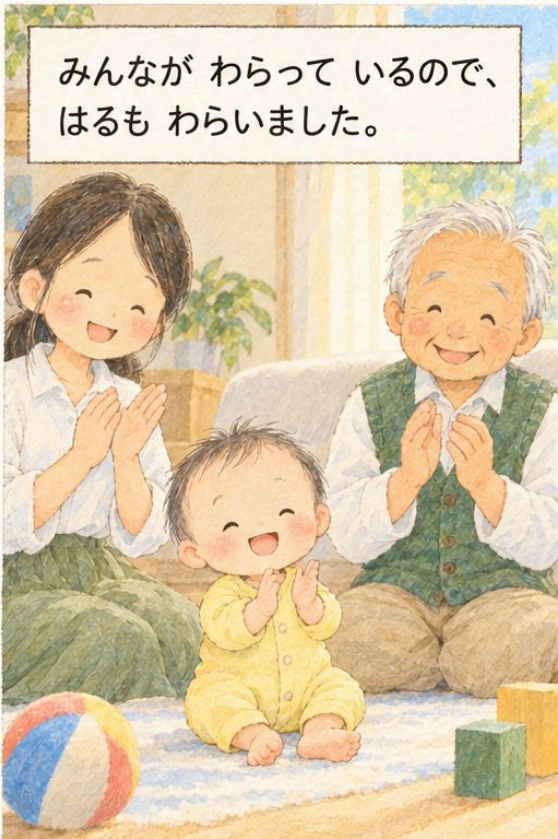
1 ぽ、2 ぽ、3 ぽ。

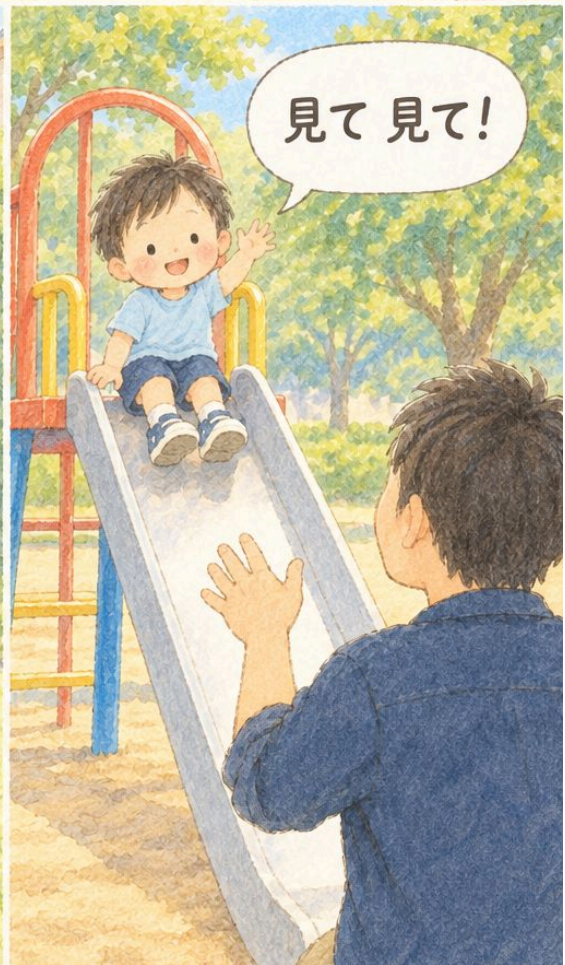


あるいた！



みんなが わらっ て い る の で、
はる も わ ら い ま し た。





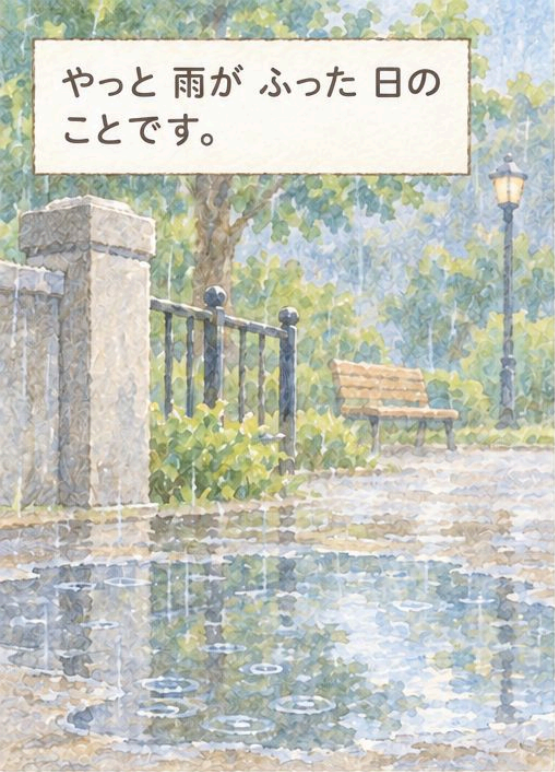
3さいの たんじょう日に、
きいろい ながぐつと 雨ガッパを
もらいました。



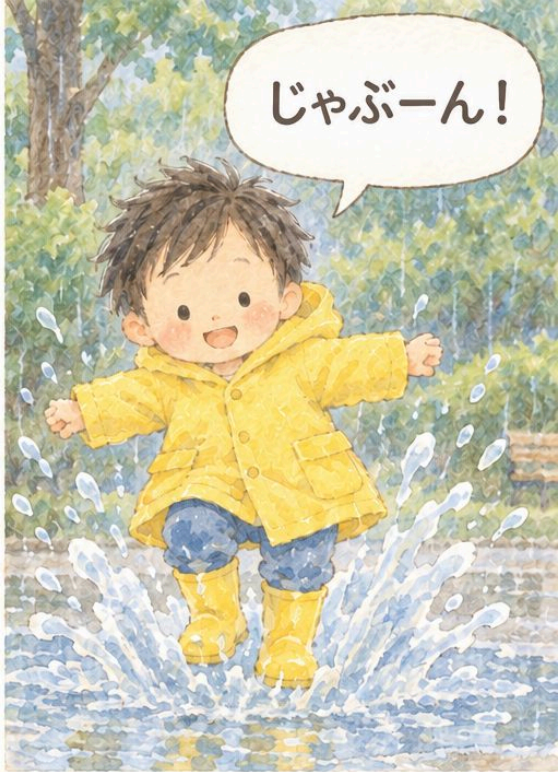
きょうは ふる？



やっと雨がふった日の
ことです。



じゃぶーん!



あーあ



おかあさんは、
わらっていました。





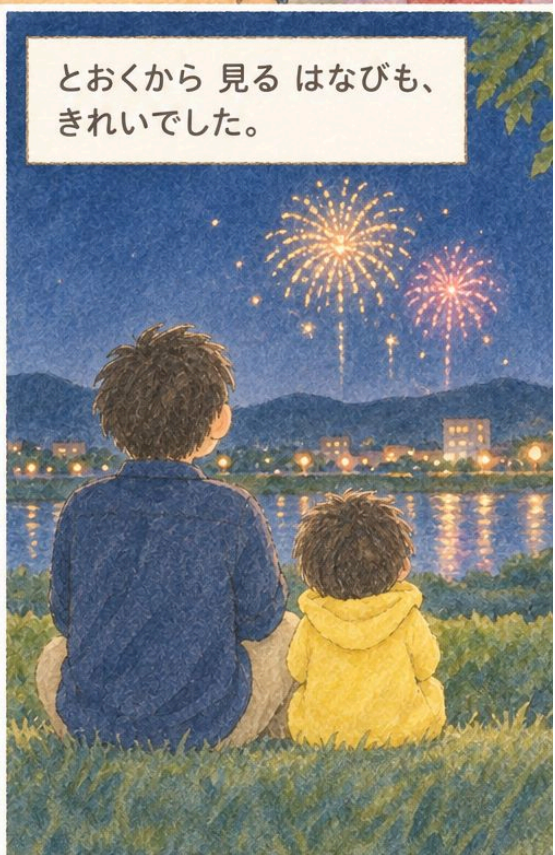
はるは、大きな おとが
すこし にがてでした。



おとうさんは、はるの みみを
手で そっと ふさいで、
すこし はなれた ところから
いっしょに 見ました。



とおくから 見る はなびも、
きれいでした。



4さいに なった ばかりの、
さくら の ころ。はるは、えんに
かよいはじめました。



いっしょに
あそぼう



あしたも いく



4さいの ふゆの はっぴょうかい。
はるの やくは、たぬきでした。

ぽんぽこ



たぬき だから

5さいのはじめ、プランターに
ミニトマトの なえを うえました。



きいろい 花が
さいた！



まだ みどり



まって しょうね

まってる







ねもとに、そっとね

はい、先生



はるは、さいごまで にきにこ
して はしりました。



いちばん いい かおで
はしってた

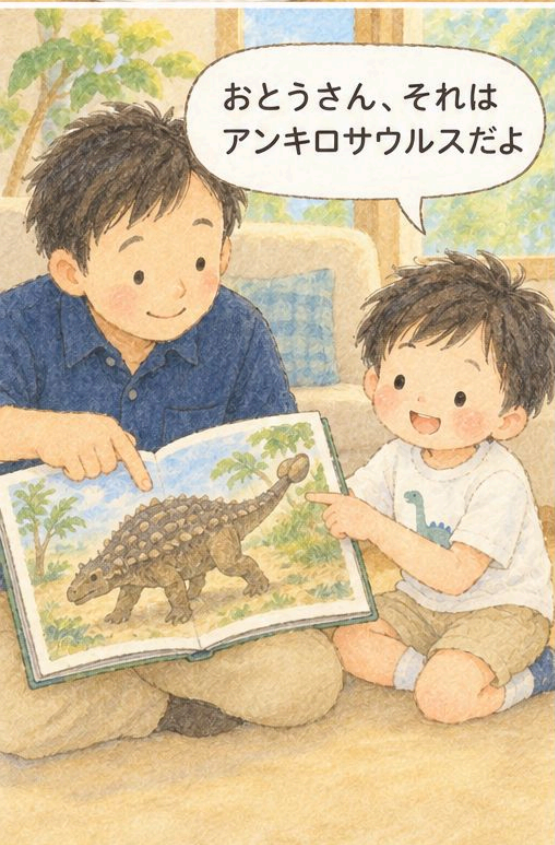
4さいの たんじょう日に、
おじいちゃんが きょうりゅうの
ずかんを くれました。



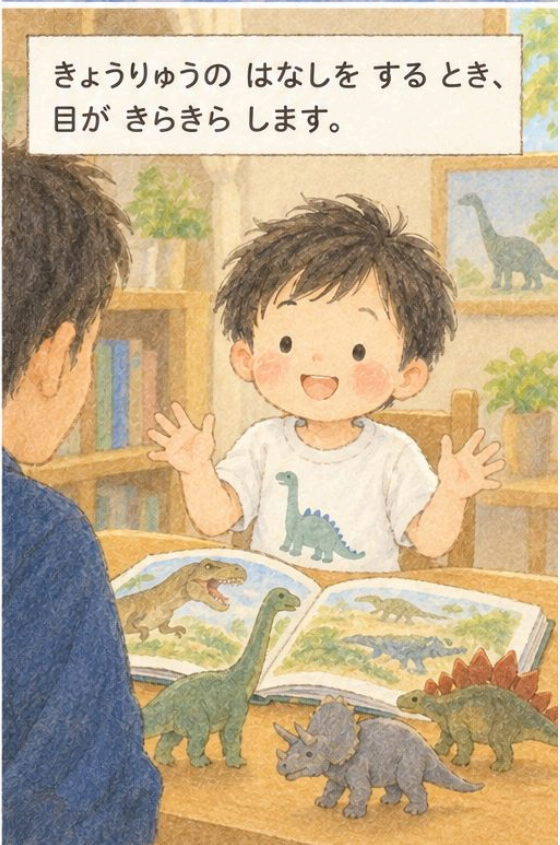
その 日の よる、ずかんを だいて
ねました。

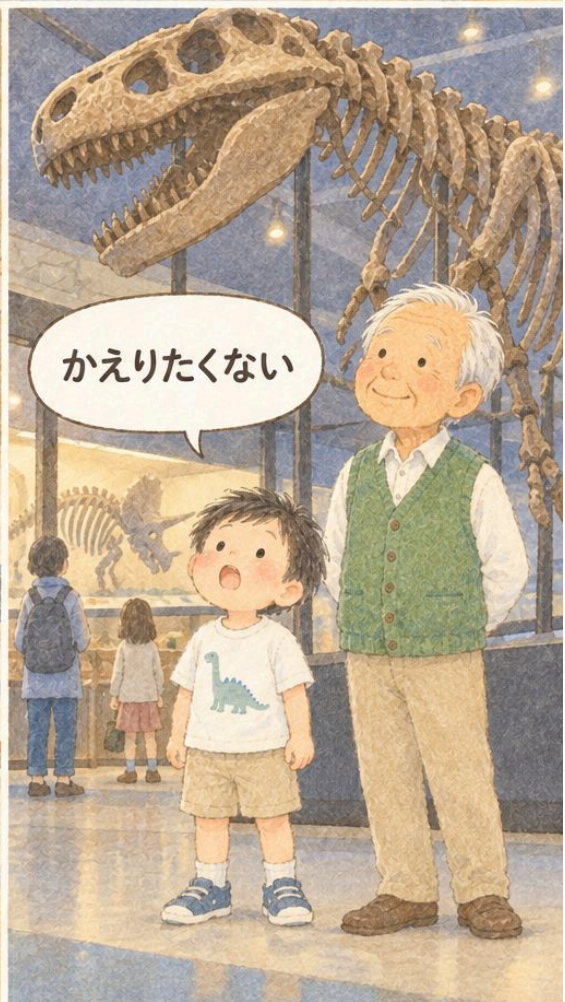


おとうさん、それは
アンキロサウルスだよ



きょうりゅうの はなしを する とき、
目が きらきら します。





はるは、ダンボールで
いろいろな ものを つくります。

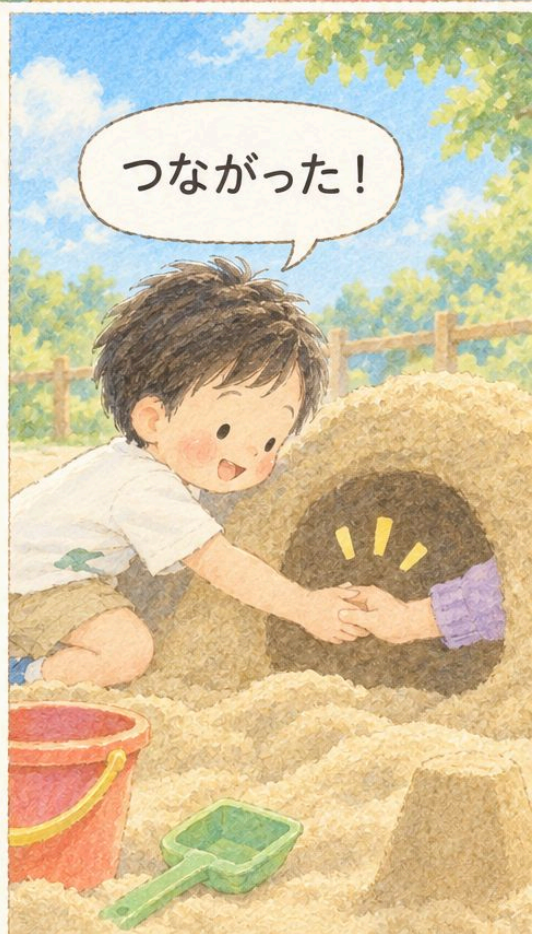


名まえは「ダンボールサウルス」です。



足が とれても、テープを 2まいにして、
もう 1ど つけました。





すきな ばしょは、わかば川の かわらです。
いちばん まるい 石は、まどべに ならべて
あります。



6さいの たんじょう日に、おじいちゃんが
きょうりゅうの ふでばこを くれました。



えんぴつを 1本ずつ ならべて、
ふたを しめたり あけたり しました。





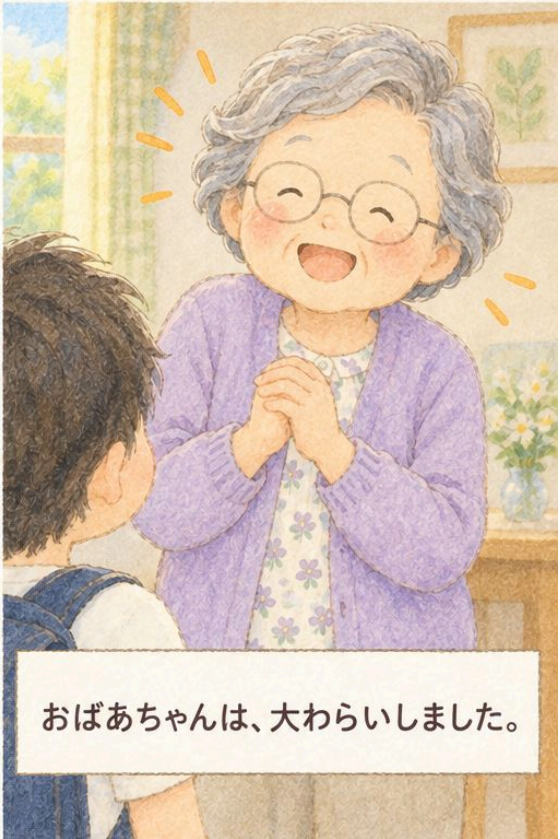
きょうりゅうの
いろが いい



きょうりゅうって、
なにいろ？



わからない。
ほねしか ないから

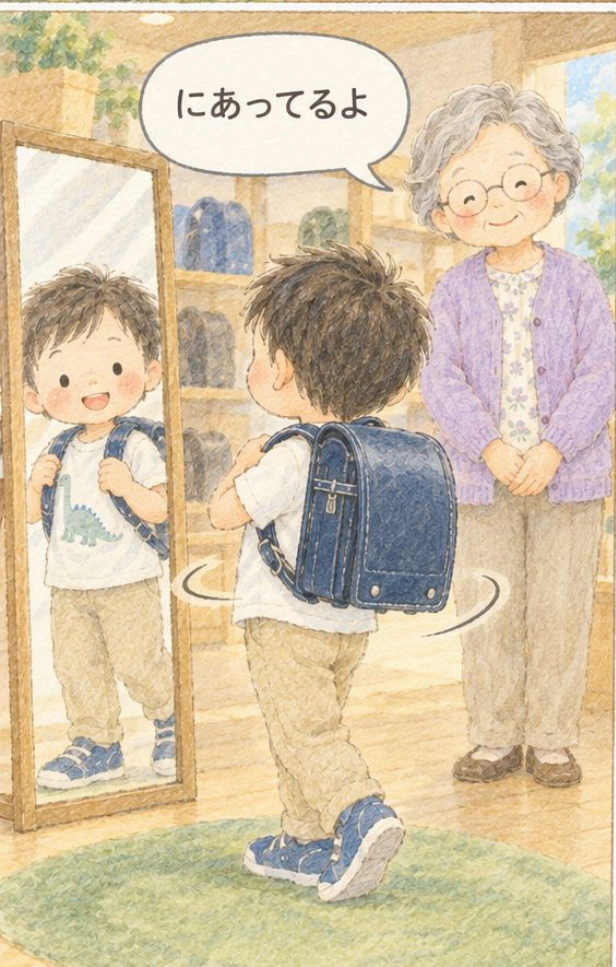


おばあちゃんは、大わらいしました。

赤、青、くろ、みどり、ちゃいろ。



にあってるよ



はるも、てれくさそうに
わらいました。





ごはんのときは
おろそうね



ねるときは、まぐらのよこに
おいてねました。



たまごは いらないよ

おもり



さいごに、てがみを とどけます。



大きくなった はるへの てがみです。





はるが うまれた日は、あめが あがって、
そらが とても きれいでした。



きょうりゅうの はなしを する
はるの かおが、わたしは
だいすきです。



あしたも すきなことを
たくさん みつけてね。



うまく いかない 日が あっても、
だいじょうぶ。かえって きたら、
おやつを たべながら、はなしを
きかせてね。



おかあさんは、はるの
おかあさん に なれて、
ほんとうに うれしいです。

おかあさんより



はじめて はるを だっこした 日、
はるの 小さな 手が、おとうさんの
ゆびを ぎゅっと にぎりました。



はるが 1さいで あるいた とき、3さいで 水たまりに とびこんだ とき、
5さいで ミニトマトを 見せて くれた とき。



おとうさんは いつも、すぐ そばで 見て いました。



はるが どこで なにを して いても、
おとうさんは はるの みかたです。



アンキロサウルスの 名まえは、
もう まちがえないように します。

おとうさんより

ランドセルを せおって、くるっと
まわった はるは、とても 大きく
見えました。



また いっしょに
なにか つくろうね。



こんどは はるが おばあちゃんに、
なにか つくって ください。
たのしみに まって います。

おばあちゃんより



4さいの たんじょう日に
あげた きょうりゅうの ずかんは、
もう ぼろぼろですね。



わかば川の まるい 石さがし、
こんども いっしょに いこう。



すきな ものを、ずっと だいじに
してください。

おじいちゃんより



奥付

題名: はじめの6年、あしたへの手紙

主人公: 佐々木陽

贈り主: おかあさん・おとうさん・おばあちゃん・おじいちゃん

版: 見本 第2稿（2026年10月4日。数字を算用数字にそろえた）

制作: YNファクトリー / YN出版

この本は、自分史サービスの見本として作った架空サンプルです。登場する人物、地名、出来事はすべて架空で、実在の人物・団体・場所とは関係ありません。